

松尾委員提出資料

厚生労働省
第1回腎疾患対策検討会 資料

わが国における
CKD（慢性腎臓病）対策について

日本腎臓学会CKD対策委員会、日本CKD対策協議会
名古屋大学大学院腎臓内科学
松尾 清一

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

発表の骨子

1. 慢性腎臓病はなぜ重要か？
2. 慢性腎臓病の概念と定義
3. わが国におけるこれまでの取り組み
4. CKD対策の目標と今後の課題

発表者のプロフィール

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

1976年	名古屋大学医学部卒業
1981年	名古屋大学大学院医学研究科修了
1981年	米国留学(腎病理、腎臓病成因解明と新規治療法開発)
1984年	労働福祉事業団中部労災病院内科副部長・人工腎室長
1986年	名古屋大学医学部第三内科助手
2002年	名古屋大学大学院医学系研究科教授・腎臓内科医長
2004年	名古屋大学医学部付属病院副病院長
	日本腎臓学会慢性腎臓病対策小委員会委員長
2005年	文部科学省医学教育の改革に関する調査研究協力者会議委員
2006年	日本腎臓学会理事・慢性腎臓病対策委員長
	日本慢性腎臓病対策協議会理事・事務局長
	愛知腎臓財団常務理事
2007年	名古屋大学医学部付属病院病院長、全学経営協議会委員

Chronic diseases = 慢性病は
人類の最大の脅威である！

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

2005年における
全世界の病因別死亡割合

慢性病

- 心血管病 (心臓病、脳血管障害)
- がん
- 慢性呼吸器病
- 糖尿病
- その他 (CKD, etc)

TOTAL DEATHS 2005
5,800万人が死亡

感染症、周産期母児異常、その他 30%
心臓血管病 30%
がん 13%
慢性呼吸器病 7%
糖尿病 2%
事故・外傷 9%
その他の慢性病 9%

World Health Organization
Preventing CHRONIC DISEASES
a vital investment

慢性病は人類にとって
最大の脅威である！

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

収入水準による国グループ別の病因別死亡割合

World Health Organization
Preventing CHRONIC DISEASES
a vital investment

平成15年における
日本人の死因別死亡割合

第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

グラフA 死因別死亡割合(10歳以上)の推移

全死因100(死亡数:1014951)

28.7% (心臓血管病)

15.7% (がん)

13.0% (慢性呼吸器病)

9.4% (糖尿病)

3.8% (事故・外傷)

3.2% (感染症、その他)

2.3% (その他の慢性病)

1.9% (脳血管障害)

1.6% (肝臓病)

1.3% (腎臓病)

死者総数(単位:千人)

資料:厚生労働省「平成15年国民生活基礎調査」平成14年10月1日現在